

デジタル田園都市国家構想交付金事業 評価検証 令和5（2023）年度

官民連携の伴走型サポートによる移住・定住促進センター設置事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	単独	5年	【資料3】No.33 (仮称) 定住促進センター事業

事業概要（全体）

起業希望者・店舗開業希望者などをメインターゲットとする「移住・定住に関するワンストップ相談窓口」を設置するとともに、移住コーディネーターを配置し伴走型の相談支援を実施。きりゅう暮らしの魅力を伝えるウェブサイトや、交流人口・関係人口の拡大に向けたイベント等の開催により、本市の魅力を戦略的に発信し、つながりを創出する。

取組内容

令和5年8月に「桐生市移住支援フロント むすびすむ桐生」(以下、むすびすむ桐生)を開設した。主な取組内容は以下のとおり。

- | | |
|--|--|
| <p>①相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーターを配置 ・電話、メール、オンライン、対面による相談 ・補助金等の案内 等 | <p>②魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの構築 ・空き家・空き地バンクのリニューアル ・広告の掲載、チラシ作成 等 |
| <p>③つながりの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口・交流人口の拡大を目的とした取組の実施 ・移住・定住イベント等への出展 等 | |

事業費（桐生市分）

年度	交付対象事業額（千円）	交付額[1/2]（千円）
R5	24,168	12,084
R6(予定)	26,383	13,191
R7(予定)	26,383	13,191
R8(予定)	14,860	7,430
R9(予定)	14,860	7,430

KPI

KPI	単位	基準値	2023 1年目	2024 2年目	2025 3年目	2026 4年目	2027 5年目
社会増減数	人	-560	-480 -105	-390	-300	-200	-90
本事業によって店舗開業・起業・就農を伴う移住をした人数	人	0	3 1	9	15	17	20
移住・定住に関する相談件数	件	128	240 396	290	310	320	330
ポータルサイトへのアクセス数	回	0	29,000 42,457	46,000	48,000	50,000	53,000

※上段：目標値、下段実績値

今後の改善点・見直しの方向性

総合指標となる社会増減数、また、相談件数やポータルサイトのアクセス数は目標を達成できたが、本事業によって店舗開業・起業・就農を伴う移住をした人数は達成できなかった。

相談者が店舗開業等を決定するまでに一定期間を要することを踏まえると、年度途中の開設であったため、対応期間が短かったことが要因と考えられる。

今後は、むすびすむ桐生の認知度の向上のために効果的な情報発信をするとともに、オンライン・リアルイベントの実施など、つながりを創出する様々な取組を推進したい。

赤城山広域連携サイクルツーリズム

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	広域 (前橋市【代表】、桐生市、渋川市、みどり市)	3年	【資料3】No.46 赤城山観光広域連携事業

事業概要（全体）

地域での観光消費を高め、新型コロナウイルスの影響により冷え込んだ地域経済の活性化を図るため、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に適合したコンテンツ重視の観光施策として自転車振興を推し進め、サイクルツーリズムの対象区域を拡大し、赤城山周辺自治体や民間事業者など地域の関係者が連携してナショナルサイクルルートの指定を目指したサイクルツーリズムに取り組む。

- サイクリストの受入環境整備
- 自転車周遊観光とブランド化の促進
- DMO（観光地域づくり法人/「NPO法人赤城山自然塾」）の推進

取組内容（桐生市負担分）

- サイクリングルートや観光スポットを掲載したガイドブックの作成
- サイクリストが休憩や簡易な修理を行える場所（サイクルオアシス）の広域的な設置
- スマートフォンを利用した電子クーポン形式によるスタンプラリー事業の実施
- e-Bikeのレンタル及びツアーの広域での実施
- 地域特産を味わいながら赤城山周辺100kmを周遊するサイクリングイベントの開催

事業費（桐生市分）

年度	交付対象事業額（円）	交付額[1/2]（円）
R3	1,534,000	767,000
R4	1,534,000	767,000
R5	1,534,000	767,000

今後の改善点・見直しの方向性（桐生市分）

赤城山広域連携サイクルツーリズム事業にて培われた実績を活用し、自然や農作物など、本市における赤城山周辺の地域資源を活かしながら、周辺自治体と連携して、インバウンド層も取り込める事業を検討していく。

また、デジタルスタンプラリーや情報発信、サイクリスト向けに設置したサイクルオアシスについて、継続的な事業を行っていく。

多様な交流が生み出す地域の活性化

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	横展開型	広域 ※群馬県(代表)、東吾妻町との連携事業	3年	【資料3】No.17「伝統産業保護育成事業」 【資料3】No.19「地場産業振興センター事業」

事業概要（全体）

群馬県は、人口減少・高齢化が進むとともに、産業のデジタルシフトにより新たな価値の創出が不可欠となっている。その中で、自然豊かな群馬県の強みである観光産業や農畜産物組が求められている。そのために、誰もが集い、交流し、にぎわいが創出さ等を生かした新たな価値を創出し、将来にわたっても県内人口を維持し、県内所得を成長させる取れる場所を県庁舎31階に新たに設け、新たな価値を生み出し、この波及効果を全県にもたらすことで、群馬県の持続的な成長を目指す。

取組内容（桐生市実施分）

【需要開拓事業】

新商品開発及び展示会開催・出展により、桐生製品を積極的にPRし、需要の開拓を図る。

- 桐生織物宣伝事業
- 桐生織物新製品開発事業
- 国内向け婦人服地新製品開発事業並びに発表会

【桐生テキスタイルプロモーション開催事業】

繊維産地桐生の活性化及び発展を目的に専門家を招聘して総合開発指導を仰ぎ、大消費地・東京にて展示会を行い、顧客の拡大と安定化を図る。

- 展示発表会
開催日：令和6年3月
会 場：恵比寿（東京都渋谷区）

事業費（桐生市分）

年度	交付対象事業額（円）	交付額[1/2]（円）
R5	12,322（151,220）	6,161（75,610）
R6(予定)	12,322（151,220）	6,161（75,610）
R7(予定)	12,322（151,220）	6,161（75,610）

今後の改善点・見直しの方向性（桐生市分）

繊維産地桐生における製品の需要開拓に結び付く、桐生織物協同組合の「需要開拓事業」を継続して支援する。

産地企業の商品開発力・企画提案力を強化し、産地全体として国内外へ情報発信し、顧客の拡大・安定化を図る桐生地域地場産業振興センターの「桐生テキスタイルプロモーション事業」を継続して支援する。

桐生が岡公園拠点整備計画

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生拠点整備タイプ	横展開型	単独	2021（1年間） ※5年間評価を実施	桐生が岡動物園整備事業 ※2021年度で事業終了

事業概要

桐生が岡動物園内の、現在使用されていないゾウ舎の跡地に、全国唯一となる1階と2階の両階から立体展示を観覧可能なレッサーパンダの獣舎を建設して集客力の向上を図るとともに、現在同時進行で進める重伝建地区間の導線整備や、重伝建公開施設整備、空き店舗活用創業者への支援等と一体的に進めることで、人の流れを創出し、観光客の滞在時間を増加させ、地域への経済波及効果を高める。

獣舎は、様々な角度から間近で生体が観察できるよう、吹き抜けスペースを活かした高さのある2階建てにし、頭上に吊り橋をかけてレッサーパンダを行き来させる立体展示を行う。2階部分は、レッサーパンダの観覧ホールやトイレと授乳室を備えた休憩所など、多目的スペースとする。



事業費

総事業費（円） ※交付金対象以外含む	交付金額（円）
170,104,000	83,121,000

KPI（重要業績評価指標）

KPI		2019年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
観光入込客数（人）	目標値	4,143,000 （基準）	4,143,000	4,231,000	4,251,000	4,271,000	4,291,000
	実績値		↓2,501,900	↓3,306,157	↓4,099,731		
動物園入園者数（人）	目標値	327,940 （基準）	327,940	349,940	354,940	359,940	364,940
	実績値		↓234,980	↑413,820	↑384,920		
遊園地遊器具延利用者数（人）	目標値	875,381 （基準）	875,381	941,381	956,381	971,381	986,381
	実績値		↓664,044	↑1,113,950	↑1,191,844		

今後の改善点・見直しの方向性（桐生市分）

令和4（2022）年3月25日から3頭のレッサーパンダの一般公開が始まり、多くの来園者から喜ばれており、動物園入園者数、遊園地遊器具延利用者数ともに目標値を上回った。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会経済活動が回復してきている中、引き続き、市公式YouTubeにおける動画配信やSNS等における情報発信を積極的に行い、更なる集客力の向上に努める。また、桐生市重伝建地区公開活用施設が完成し、重伝建地区間との導線整備も進んでいることから、桐生が岡公園と重伝建地区間の人の流れの創出を図り、市内の滞在時間を増加させて地域への経済波及効果を高めてまいりたい。

【参考】群馬県移住支援・マッチング支援事業

タイプ	事業類型	単独/広域	事業期間	予算事業名
地方創生推進タイプ	移住・企業・就業型	広域 (群馬県【代表】、県内全市町村)	2019～2024 (6年間)	【資料3】事業No.35 移住支援事業

事業概要

国の地方創生移住支援事業を活用し、地方の人口減少対策と担い手不足の解消を目的として、東京圏から地方に移住して就業・起業する方に、移住支援金を支給するもの。

国1/2、県1/4、市1/4の財政負担で実施。

【交付額】

- ・単身世帯：60万円
- ・2人以上世帯：100万円
- ・18歳未満の世帯員1人につき100万円まで加算可能
(令和4年度は30万円を加算)



今後の改善点・見直しの方向性（桐生市分）

令和5（2023）年度から18歳未満の世帯員1人当たりの加算額を100万円に増額したが、交付件数が令和4（2022）年度に及ばなかったため、対象者への周知方法に課題があったと考える。

令和6（2024）年度において、市の起業支援メニュー等を活用して店舗開業等を行う方を支援できるよう、関係人口要件を新たに追加したことから、むすびすむ桐生による効果的な周知を行い、本市への移住を促進してまいりたい。

令和5年度実績（桐生市分）

○ 交付件数・交付額

年度	交付件数(件)	交付額(円)
R1	1	1,000,000
R2	1	1,000,000
R3	4	3,200,000
R4	9	7,600,000
R5	7	9,300,000
R6	—	—

(参考) 群馬県全体：R4…200件、R5…259件

○ 令和5（2023）年度の内訳

No.	区分			
	世帯内訳	人数	加算内訳	就業形態
1	世帯	7	うち18歳未満 5名	テレワーク
2	世帯	2		テレワーク
3	世帯	2		テレワーク
4	世帯	4	うち18歳未満 2名	テレワーク
5	単身	1		テレワーク
6	単身	1		テレワーク
7	単身	1		テレワーク
合計	単身3・世帯4	18	うち18歳未満 7名	テレワーク7件